

1 ex., 能美市松が岡 (light trap), 1. IX. 2019; 2 exs., 同地 (light trap), 6. IX. 2019; 5 exs., 能美市松が岡 (スプレー法), 27. IV. 2020.

9月に採集した個体は、林縁で実施したライトトラップに飛来したものである。4月に採集した個体は、林内の折れたアベマキの枝(図2)からスプレー法により得られた。この枝は、2018年冬の降雪により、木の上部(地面から約5m)に折れた状態で引っかかっているのを確認しており、2019年冬の積雪により地面に落下したものである。大塚・角島(2012)は樹木に引っかかったクヌギの新鮮な枝から本種を採集しており、比較的新鮮な樹木である点が本採集事例と類似していた。

#### 引用文献

- 平松新一・富沢 章・松井正人・川瀬英夫・江崎功二郎・福富宏和・嶋田敬介・渡部晃平, 2020. 2016年から2018年に白山で観察された昆虫類の記録. 石川県白山自然保護センター研究報告, (46): 57-78.
- 平野幸彦, 2010. 日本産ヒラタムシ上科図説 第2巻 ホソヒラタムシ科・キスイモドキ科・ムクゲキスイムシ科. 61 pp. 昆虫文献六本脚.
- 保科英人・佐々治寛之・高橋直樹・牛嶋啓明, 2003. 2002年石川県白山系で採集された甲虫類 付 オオキノコムシ科昆虫の1新種の記載. 福井大学地域環境研究教育センター研究紀要「日本海地域の自然と環境」, (10): 15-39.
- 石川県, 1998. 石川の自然環境シリーズ 石川県の昆虫. 537 pp. 石川県環境安全部自然保護課.
- 木村史明・池田 大, 2022. 令和2年度 飛鳥地域における昆虫相調査. 樺原市昆虫館研究報告. (1): 4-19.
- 間野隆裕(編), 2018. グリーンデータブックあいち2018 昆虫編. Pp. D1-280. 愛知県の生物多様性 グリーンデータブックあいち2018, 愛知県環境部自然環境課.
- 入場 登, 1994. 石川県産甲虫の記録. アカハネムシ, (9): 2-3.
- 大塚健之・角島幸二, 2012. 広島県で採集したナガムクゲキスイの記録. 月刊むし, (493): 47.
- 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課, 2018. 滋賀県昆虫目録. [http://www.pref.shiga.lg.jp/d/shizenkankyo/shigakoncyuu/h30\\_shigakoncyuu.html](http://www.pref.shiga.lg.jp/d/shizenkankyo/shigakoncyuu/h30_shigakoncyuu.html) (2022年11月29日参照).
- 高羽正治, 2002. 石川県の甲虫覚書(II). とっくりばち, (69): 1-5.
- 渡部晃平・福富宏和, 2019. 石川県におけるコウチュウ目6種の初記録. さやばねニューシリーズ, (36): 61-62.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地  
石川県ふれあい昆虫館)

#### 【短報】北海道におけるオビホソテントウダマシの記録

オビホソテントウダマシ *Leiestes fines* (Sasaji, 1995) は、青森県鯉ヶ沢町を模式産地として記載された種であり (Sasaji, 1995), 青森県, 群馬県及

び栃木県から記録されている (尾崎, 2000; 平野, 2007; 前原, 2011). 第二筆者はこれまで記録のなかった北海道で本種を採集しているため報告する.

1♂, 北海道札幌市南区砥山八剣山, 2. V. 2021, 田作採集, 保管.

リターをツルグレン装置にかけることにより得られた.

末筆ではあるが、本種の記録についてご教

示いただいた中村涼氏と堀繁久氏、投稿に際しご協力いただいた中野文尊氏に厚く御礼申し上げます.

#### 引用文献

- 平野幸彦, 2007. オビホソテントウダマシ群馬県の記録. 月刊むし, (431): 44-45.
- 前原 論, 2011. 栃木県で採集したカメムシと甲虫について. インセクト, 62 (1): 56-59.
- 尾崎俊寛, 2000. 青森県の甲虫類 (3). テントウムシダマシ科, マルテントウダマシ科について. *Celastrina*, (35): 61-79.
- Sasaji, H., 1995. Contribution to the taxonomy of the superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her adjacent districts, VIII. *Memoirs of the Faculty of Education, Fukui University, Series2*, 47 (2): 21-30.

(脇村涼太郎 005-0807 札幌市南区川沿7条  
4-6-8 C-102)

(田作勇人 062-0005 札幌市豊平区美園5-6-2-16)

#### 【短報】岩手県におけるゲンゴロウ科2種の初記録

岩手県では、これまでにゲンゴロウ科43種が記録されている (鈴木, 1988; 岩手県生活環境部自然保護課, 2001, 2020; 森・北山, 2002; 阿部ら, 2003; 高橋・茅橋, 2005; 成瀬, 2008, 2009; 初宿, 2011; 茅橋ら, 2015). 筆者らは岩手県初記録となるゲンゴロウ科2種を採集しているので、新分布記録として報告する.

種の同定は Okada (2011) や Watanabe & Kamite (2020) を参考にして渡部がおこなった. 採集地は全て岩手県であるため、県名を省略した.



図1. 北海道産オビホソテントウダマシ. スケール: 1.0 mm.



図 1-2. 岩手県初記録のゲンゴロウ科. 1, ニセモンキマメゲンゴロウ; 2, ヒラサワツブゲンゴロウ.

ニセモンキマメゲンゴロウ *Platambus convexus*  
Okada, 2011

21 exs., 花巻市 平滝川, 15. IX. 2019, 茅橋輝昭・菊地恭司採集; 2 exs., 同地, 31. VIII. 2021, 茅橋輝昭採集.

生活排水が流れ込まないうす暗い小さな川で採集された.

ヒラサワツブゲンゴロウ *Laccophilus hebusuensis*  
Watanabe et Kamite, 2020

7 exs., 滝沢市岩手山 春子谷地, 29. VIII. 2021, 茅橋輝昭採集; 33 exs., 同地, 11. IX. 2021, 茅橋輝昭採集.

春子谷地湿原ではコウベツブゲンゴロウ *L. kobensis* Sharp, 1873 が記録されていたが (成瀬, 2008), 同地の標本を再検討した結果, ヒラサワツブゲンゴロウであることが判明した.

## 引用文献

- 阿部幸之助・茅橋輝昭・及川 勇・佐竹邦彦・澤藤悦子・菅原完之・須川直義, 2003. 北上市東部地区における溜池調査中間報告. 北上市立博物館研究報告, (14): 135-156.  
岩手県環境生活部自然保護課, 2020. いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物 web 版. <http://www2.pref.iwate.jp/~hp0316/rdb/index.html>. (2022 年 5 月 28 日参照).  
岩手県生活環境部自然保護課, 2001. 岩手県野生生物目録. 492 pp. 岩手県, 盛岡.  
茅橋輝昭・佐竹邦彦・成瀬健一, 2015. 岩手県におけるホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウの記録. 北上市立博物館研究報告, (20): 2.  
森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 231 pp. 文一総合出版.  
成瀬健一, 2008. 春子谷地湿原のゲンゴロウ類について. 春子谷地生物相調査報告書: 23.  
成瀬健一, 2009. 岩手県産ゲンゴロウ科の追加記録. 岩手蟲乃會會報, (36): 40.  
Okada, R., 2011. A new species of the genus *Platambus* (Coleoptera, Dytiscidae) from Hokkaido, Japan. *Elytra*, Tokyo, New series, 1: 31-38.  
初宿成彦編, 2011. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第 43

集 大阪市立自然史博物館 所蔵甲虫類目録 (1) ゲンゴロウ上科・ゴミムシダマシ科・ナガクチキムシ類. 197 pp. 大阪市立自然史博物館.

鈴木 互, 1988. 岩手県八幡平で採集されたゲンゴロウ類. 月刊むし, (214): 25.

高橋 誠・茅橋輝昭, 2005. チョウカイクロマメゲンゴロウ岩手県に分布. 月刊むし, (412): 49.

Watanabe, K. & Y. Kamite, 2020. A new species of the genus *Laccophilus* (Coleoptera: Dytiscidae) from eastern Honshu, Japan, with biological notes. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 26: 294-300.

(茅橋輝昭 020-0585 岩手郡雫石町長山松森 261)

(成瀬健一 020-0106 盛岡市東松園二丁目 3-3)

(菊地恭司 024-0332 北上市和賀町堅川目

2-18-23)

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戌 3 番地

石川県ふれあい昆虫館)

## 【短報】ナガケシゲンゴロウの繁殖期に関する生態的知見

ナガケシゲンゴロウ *Hydroporus uenoi* Nakane, 1963 は, 日本, 中国, ロシア極東部, モンゴルに分布するゲンゴロウ科の小型種である (渡部・吉富, 2023). 長野県を基準産地として記載され, 日本国内では石川県を西限として本州中部以北に分布している (中島ら, 2020). 環境省版レッドリストには選定されていないものの, 石川県版レッドデータブック 2020 では, 生息地が 1ヶ所しか確認されていないことから, 絶滅危惧 I 類に選定されている (石川県野生動物保護対策調査会, 2020).

本種の幼虫は未記載であるが, 三田村ら (2017) が図示しており, 幼虫確認時期として 4~5 月が挙げられている. しかし, これ以外の幼虫期に関する情報は不明であり, この出現時期に関する根拠も正式には記録されていない.

筆者らは, 本種の国内西限の生息地において, 野外条件下において繁殖期および幼虫出現期に関する知見を得ることができた. その詳細を報告する.

報告に先立ち, 調査にご同行いただいた上手奈美氏に感謝申し上げる.

## 【観察・採集データ】

1♂, 1♀, (交尾中の個体を撮影), 石川県金沢市曲子原町, 4. III. 2016, 渡部撮影 (図 1); 1 ex. (2nd instar larva), 5 exs. (3rd instar larvae) (図 3), 同地, 12. V. 2018, 渡部採集, 全て飼育; 6 adults, 5 exs. (3rd instar larvae), 同地, 12. V. 2018, 渡部・上手採集, 上手保管.